

第31回秋季シンポジウム（2018年名古屋工業大学）

セラミックスカフェのご案内

2017年、2018年の各年会においてランチオンセミナーを開催し、毎回70名以上のご参加をいただき、高い関心から大盛況を呈してきました。働き方やその意識改革が求められている昨今でもありますので、第31回秋季シンポジウムにおいても、セラミックスカフェを開催いたします。今回は、「企業のダイバーシティの取り組み最前線とキャリアアップ」をテーマに、講演と意見交換・交流会を下記のように企画しました。

日時：2018年9月6日（木）12時～13時15分

会場：名古屋工業大学 51号館

ランチ：お弁当と飲み物を無料でお配りします。（先着100名）

（ランチを食べながらお聞きください）

テーマ：企業のダイバーシティの取り組み最前線とキャリアアップ

対象者：学生から管理職の方まで男女問わずご参加お待ちしております。

★セラミックス協会会員以外の方も、どなたでもご自由に参加いただけます。

12時～12時05分 挨拶 藤岡 伸子 氏（名古屋工業大学 学長特別補佐）

12時05分～12時25分 講演（20分）

「企業のダイバーシティ：全ての社員がいきいきと働ける会社を目指して
—ノリタケの取り組み—」

講演者：横山 真紀子 氏（株式会社ノリタケカンパニーリミテド 人事部 人材開発課主事）

12時30分～12時50分 講演（20分）

「企業で女性管理職として」

講演者：加藤 千景 氏（株式会社デンソー 計測技術部 基盤計測技術室室長）

12時55分～13時15分 質疑応答、相互意見交換・交流会（20分）

コーディネーター：男女共同参画委員長 中野 裕美（豊橋技術科学大学 副学長）

協賛企業

TAIYO YUDEN

お客様から信頼され、感動を与えるエクセレントカンパニーへ

<https://www.yuden.co.jp>

太陽誘電は、従業員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、あらゆる差別がない職場環境を確保することを行動規範に定めています。

太陽誘電で働く多様な人々が最大限に能力を発揮していけるように、働きやすい環境づくりや活躍できる基盤づくりに取り組み、グループ全体でダイバーシティ活動を推進しています。

太平洋セメント

<http://www.taiheiyo-cement.co.jp/>

当社は総合職採用における女性採用比率を30%以上とするなど女性活躍推進に関する数値目標を掲げ、適正な人材ポートフォリオの構築にむけて、女性の積極採用（アトラクション）と定着（リテンション）を促進しています。多様な人材の発想や価値観によるイノベーションを促進し、能力を最大限発揮できる組織を構築するためにダイバーシティの推進を図るとともにワーク・ライフ・マネジメントを推進しています。

DIC株式会社

Color & Comfort

<http://www.dic-global.com/ja/>

「化学で彩りと快適を提案する」DIC（ディーアイシー）は、印刷インキ、有機顔料、PPSコンパウンドで世界トップシェアの化学メーカーです。印刷インキの基礎素材である有機顔料と合成樹脂をベースとして素材から加工品に至る様々な分野に事業を拡大し、世界の60を超える国と地域にグローバルに事業を展開しています。DICは、新しい価値観を経営に反映させる「ダイバーシティ経営」を志向し、すべての社員にとって、働きがいのある職場づくりを推進しています。

日本ファインセラミックス協会

JFCA Japan Fine Ceramics Association

<http://www.jfca-net.or.jp>

当協会は、ファインセラミックス産業の基盤の整備と振興を図るための工業会です。ファインセラミックスに関する情報の収集及び提供、産業動向及び標準化に関する調査研究等を行うことで、会員と産業の発展に貢献しています。

COORSTEK

<http://www.coorstek.co.jp/>

素晴らしい世界をもっと実感できる世界に
クアーズテックは、先端材料に支えられたユニークで高性能なエンジニアリングセラミックスを通じて、もっと素晴らしい世界を作るためのソリューションを生み出し続けます。

堺化学工業株式会社

<http://www.sakai-chem.co.jp>

おかげさまで、堺化学は本年創業100周年を迎えました。これからも社会に貢献する機能性材料の開発に邁進し、お客様、社会、そして私たち社員にとっても価値あるワークカンパニーを目指します。

AGC

<http://www.agc.com>

弊社は2018年7月1日付で社名を「旭硝子」から「AGC」に変更致しました。現在は世界30カ国以上に5万人の従業員がいますが、今後もダイバーシティを大切に事業の国際化を加速したいと思っております。